

# シリンダーの種類

## U9シリンダー (ロータリーシリンダー)

### ■ 特長

#### ■ 大規模なキープランが可能

タンブラーは9列9枚で4段変化のものを使用していますのでカギ違いの数は、150,994,944通りにもなり、各種キープランに対応可能です。ますます複雑、大規模になって行く、建物のキープランも、余裕をもって対応できます。

#### ■ 優れた耐久性

タンブラーはリン青銅製ですので、耐摩耗性に優れ、シリンダー寿命がさらに向上しました。

#### ■ 優れた防犯性

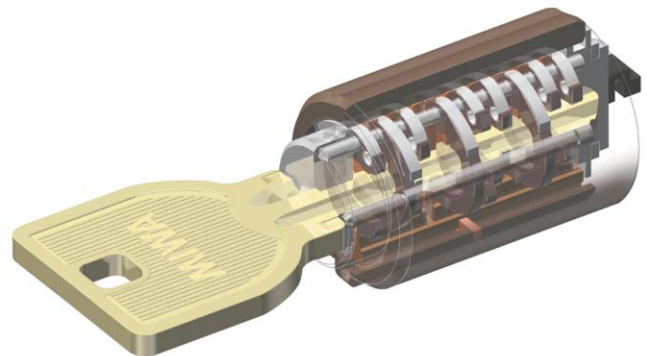
安全性に優れたロータリータンブラーに加え、タンブラーが9枚、キーの切り込み深さが4段変化となり、耐ピッキング性能は、一段と向上しています。

#### ■ 耐かぎ穴壊し性能に3グレード

錠前の種類によりG1～G3の3グレードあります。詳細はP.872の錠前の性能表示の耐かぎ穴壊し性能の項目をご参照ください。

#### ■ 可能キーシステム

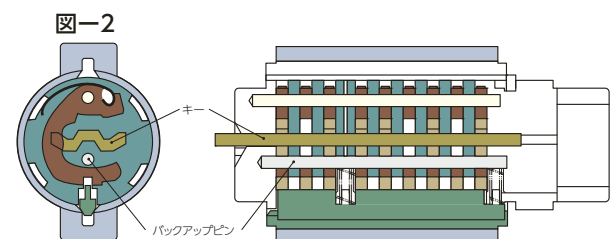
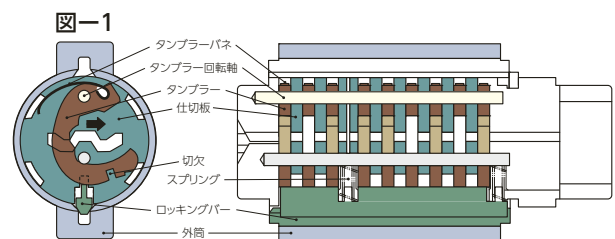
- マスターキーシステム
- グランドマスターキーシステム
- グレートグランドマスターキーシステム
- マルチマスターキーシステム
- 逆マスターキーシステム
- 同一キーシステム
- コンストラクションキーシステム
- ディスプレイキー、エマーゼンシーキーシステム



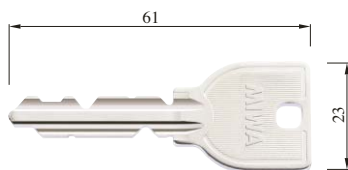
シリンダーの種類

### ■ 原理

- ① キーを抜きとった状態では図-1に示すように、ロックングバーがスプリングによって外筒の溝に押しつけられています。また、タンブラーはタンブラーバネによって矢印の方向へ押されています。この状態で内筒を回転させようとしても、(タンブラーの切欠がロックングバーの上方面にないため) タンブラーに阻まれて、ロックングバーは上方へ上がることができず、内筒を回転させることができません。
- ② 標準の子カギ(合カギ)を差し込むと、タンブラーはキーのきざみによって押され、切欠がロックングバーの上方面にくるまで回転、整列します。この状態で内筒を回転させようすると、溝とロックングバーとのテーパーによって、スプリングに抗してロックングバーが上方に押し上げられ、内筒を回転させることができます。



キーウェイ形状



U9キー形状